

平成24年度

岐阜薬科大学大学院薬学研究科
薬科学専攻博士後期課程

学生募集要項

岐阜薬科大学

平成23年11月

1 アドミッションポリシー

薬科学専攻は、「ヒトと環境に優しい薬学（グリーンファーマシー）」の実践を基盤として、薬と健康に関する高度で先進的な研究により薬学の発展に貢献するとともに、それに支えられた教育を通して、自立して創造的研究活動を遂行するために必要な研究能力、その基礎となる豊かな学識、常に人と環境への配慮を怠らない優れた人格を身につけた、将来、薬学の研究者・技術者として指導的役割を担う人材を育成することを目指しています。

本専攻では、世界水準の創薬研究を展開し、現代科学や医療技術の発展に貢献できる、高度な専門性、幅広い基礎知識等を身に付けて、創薬学、環境科学や生命科学を総合的に習得し、将来、創薬研究、医療技術、医療・環境行政、教育等の分野において指導的な研究者・技術者として積極的に活躍できる、意欲ある人を求めます。

2 募 集 人 員

薬科学専攻博士後期課程 5名（社会人入学を含む）

募集研究室・連携機関

大 講 座	研 究 室 ・ 連 携 機 関
創 薬 化 学	薬化学、薬品化学、合成薬品製造学
生体機能解析学	分子生物学、薬効解析学
薬 物 送 達 学	薬品物理化学、製剤学
機 能 分 子 学	生薬学、薬理学、薬品分析化学
生 命 薬 学	衛生学、生化学
連 携 大 学 院	岐阜県保健環境研究所、独立行政法人医薬品医療機器総合機構

上記の募集人員には、連携大学院が含まれる。

3 出 願 資 格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者、及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者、及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

- (7) 学校教育法第102条第2項の規定により他大学院に入学した者であって、大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの
ただし、上記出願資格(6)、(7)又は(8)で出願しようとする者は、事前に志望する研究室の指導教授に相談のうえ、出願資格審査及び出願手続きを行ってください。

社会人出願資格

上記いずれかの出願資格を満たす者で、各種研究機関、教育機関、官公庁、企業、医療機関等に在職し、入学後引き続きその身分を有するもの

4 出 願 期 間

平成24年1月5日（木）から1月13日（金）まで
（郵送の場合は、出願期間内に必着とします。）

5 出 願 手 続

入学（進学）志願者は、入学願書等、以下に指定する書類に、入学検定料を添えて提出してください。

- (1) 入学（進学）願書（様式第1号）
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。
- (2) 写真票受験者証票（様式第2号）
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。
- (3) 修士学位論文要旨又は研究・開発業務等の概要（様式第4－1号、様式第4－2号）
本学から交付する用紙に1,200字以内にまとめてください。
- (4) 最終学歴における学業成績証明書
- (5) 修士課程修了証明書又は修了見込証明書、若しくは卒業証明書
- (6) 推薦書（様式第5号）
本学から交付する用紙を用い、志望する研究室の指導教授が作成し厳封したものです。
- (7) 研究に対する抱負及び自己アピール書
本学から交付する用紙を用い、本人が所定の事項を記入してください。
- (8) 健康診断書（様式第3号）
本学から交付する用紙を用い、医師が作成（出願前3か月以内の診断）したものです。
- (9) 写真1枚
縦4cm・横3cmの正面像写真（無地の背景で肩から上の顔写真、帽子・マスク等は着用せず出願前3か月以内に撮影したもの）を、写真票の所定の欄に貼付してください。
- (10) 受験者証票送付用封筒
本学から交付する封筒（本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手80円分を貼付してください。）
- (11) 入学検定料（本学大学院薬科学専攻博士前期課程を修了見込みの者で、引き続き博士後期課程進学を志望する者は不要。）
30,000円
郵便局で作成した「普通為替証書」に限ります。（受取人欄は記入しないでください。）

- (12) 出願資格(6)又は(8)に該当する入学志願者には、実務経験期間について、所属長が証明した勤務実績証明書の提出を求めています。
- (13) 社会人入学を希望する者は、勤務先の所属長又は代表者が作成した受験許可書（A4版 様式任意）を提出してください。
- (14) 入学志願者は、必ず志望する研究室の指導教授に事前に相談のうえ、出願手続きを行ってください。
- (15) 客員教授による研究指導を希望する者は、事前に薬学研究科長に相談のうえ、出願書類を提出してください。

6 試験期日・内容及び場所

試験期日	試験時間	試験内容	場所
平成24年2月1日(水)	10:00～	学力検査及び面接	岐阜市大学西 1丁目25-4 岐阜薬科大学 (本部)

※学力検査は、プレゼンテーションと質疑により行います。

7 選 抜 方 法

選抜は、出願書類（「修士学位論文要旨又は研究・開発業務等の概要」、学業成績証明書、推薦書、「研究に対する抱負及び自己アピール書」、健康診断書）の審査に加えて、学力検査及び面接の結果を総合して行います。

8 合 格 発 表

平成24年2月2日(木) 本学(本部) 掲示板に掲示するとともに、本人あてに通知します。
 なお、本学ホームページ (<http://www.gifu-pu.ac.jp/>) にも合格者受験番号を掲示しますが、
 掲示板のものを正式発表とします。電話による問い合わせには一切応じません。

9 入学料及び授業料

入学料 … (本学大学院薬科学専攻博士前期課程修了者を除きます。)

岐阜市内在住者 282,000円 岐阜市外在住者 504,000円

授業料 … 年額 535,800円(前期、後期の2期に分納)

※ 上記は、平成23年度入学者の納入金額を示していますが、入学時に改定されることもあります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※ 岐阜市内在住者とは、本人または配偶者、もしくは一親等の親族が平成23年4月1日以前から引き続いて岐阜市内に居住(住民登録)している者をいいます。

10 注意事項

- (1) 入学（進学）願書等を送付する場合は「書留郵便」とし、封筒の表に「薬科学専攻博士後期課程入学（進学）願書在中」と朱書きしてください。
- (2) 出願手続後の書類の変更及び入学検定料の払い戻しはできません。
- (3) 受験に関し、虚偽の記載又は不正申告等の事実があることを認めたときは、合格を取り消すことがあります。
- (4) 照会及び出願書類等の請求は本学教務厚生課あてとし、郵便で請求する場合は、あて先を明記し、郵便切手140円分を貼付した返信用封筒（角形2号）を同封してください。
- (5) 本学窓口での受付時間は、平日午前9時から午後4時までとします。

11 連携大学院について

本大学院は、研究領域の拡大と教育の多様化を目的として、特色のある設備あるいは機能を有する岐阜県保健環境研究所及び独立行政法人医薬品医療機器総合機構との間でそれぞれ協定を結び、連携大学院を構成しています。各研究機関の研究者は、本学の客員教授又は客員准教授として当該研究機関において学生の研究指導を行います。また、独立行政法人医薬品医療機器総合機構においては、別途選考の上、修学職員として採用されることが必要となることもあります。詳細は、本研究科まで問合せください。

12 外国人学生の出願について

外国人学生として入学（進学）を志望する者は、前記出願書類のほかに別途書類を提出する必要があります。

また、入学（進学）試験は、原則として日本人学生と同時に、同一方法をもって行いますが、特別の事情があると認められる場合には、特別の選抜試験制度及び入学（進学）時期の特例がありますので、事前に志望する研究室の指導教授に相談のうえ、出願手続きを行ってください。

13 個人情報の取扱い

入学者選抜の過程で収集した個人情報は、入学者選抜の目的以外には一切利用しません。

平成23年11月

〒501-1196 岐阜市大学西1丁目25-4

岐阜薬科大学大学院薬学研究科

電話（058）230-8100（代表）

URL: <http://www.gifu-pu.ac.jp>

【問合せ先】

教務厚生課 大学院担当

電話（058）230-8100（内線3589）

岐阜薬科大学大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程

大講座	研究室	研究内容
創薬化学	薬化学 教授 永澤秀子	1 低酸素微少環境を標的とする癌治療薬及び診断薬の創製 2 生命反応解明のための機能性分子の創製とケミカルバイオロジー研究 3 創薬のための多機能性指向型合成法の開発 4 ユニークな標的分子に対する創薬研究
	薬品化学 教授 佐治木弘尚 准教授 門口泰也	1 機能選択的不均一系触媒の開発と医薬品・プロセス化学的応用 2 重水素標識化法の開発と機能性材料及び新規定量分析法への応用 3 新規化学反応の開発と代替エネルギー及び新しい有機合成手法への応用 4 芳香族塩素系環境汚染物質の簡便無毒化法の開発と実用化
	合成薬品製造学 教授 伊藤彰近 准教授 三浦 剛	1 分子状酸素を利用する環境負荷低減型酸化反応の開発 2 光を利用する環境負荷低減型新規反応の開発 3 有機分子触媒を利用する不斉反応の開発研究 4 ゼオライト等無機多孔性物質の有機合成的応用研究
生体機能解析学	分子生物学 教授 古川昭栄	1 神経栄養因子の生理作用を制御する物質の探索と方法の開発 2 神経幹細胞の分化機構の解明とその医学的応用 3 中枢神経軸索の再生をめざした開発的研究 4 脳の構築過程における神経栄養因子の機能の解明
	薬効解析学 教授 原 英彰 准教授 嶋澤雅光	1 神経細胞死の機序解明に関する研究 2 脳卒中などの中枢性神経疾患に関する病態解明及び創薬研究 3 緑内障などの網膜疾患に関する病態解明及び創薬研究 4 健康補助食品の開発と薬理学的研究
薬物送達学	薬品物理化学 教授 近藤伸一	1 固体プラズマ化学の基礎と高分子プロドラッグ開発に関する研究 2 乾式メカノケミカル加工によるDDSの設計と開発 3 プラズマ化学の基礎と表面機能化医用高分子の開発に関する研究 4 プラズマ加工による臓器ターゲティングDDSの設計と開発
	製剤学 教授 竹内洋文 准教授 戸塚裕一	1 高効率、低侵襲薬物投与法（眼内、経肺など）の開発 2 微粒子分散系を利用したDDS製剤の研究 3 薬物の溶解・吸収特性改善のための粒子設計研究 4 人に優しい固形製剤設計（口腔内速崩壊錠、フィルム製剤）
実践薬学	生薬学 教授 飯沼宗和 ※ 准教授 大山雅義	1 民族伝承薬物に立脚した生活習慣病予防への応用に関する研究 2 生物多様性と生態化学物質の機能に関する研究 3 ポリフェノール類のライブラリー構築 4 科学的根拠に基づく特産品の開発研究
	薬理学 教授 稲垣直樹	1 気管支喘息及び慢性閉塞性肺疾患の病態の解明と治療薬の開発 2 掻痒を伴うアレルギー性皮膚疾患の病態の解明と治療薬の開発 3 食物アレルギーの病態の解明と治療薬の開発
	薬品分析化学 教授 宇野文二	1 生理活性物質のプロトン移動と共役する電子移動に関する研究 2 DNAの酸化損傷に関する有機電気化学的研究 3 電気化学検出法による超高感度分離分析法の開発

生 命 薬 学	衛生学 教授 永瀬久光 准教授 中西 剛	1 環境化学物質の分子毒性学的研究及び環境リスク評価手法の開発 2 有害化学物質の環境内動態及び無害化処理法の開発 3 食品・中草薬による疾病予防に関する研究 4 哺乳動物の性分化に関する研究
	生化学 教授 原 明 ※ 准教授 松永俊之	1 動脈硬化発症機序における酸化HDLの意義に関する研究 2 キノン体による炎症機序の解明 3 アルドケト還元酵素ファミリータンパク質を標的とする制癌剤の基礎的研究 4 抗癌剤耐性機序に関する研究

※印は平成25年3月定年退職予定の教員

連 携 大 学 院

連 携 機 関	研 究 内 容
岐阜県保健環境 研究所 客員教授	1 天然物誤食中毒における原因成分の高精度機器分析法に関する研究 2 天然資源（特にアマドコロ）成分の強心作用アッセイ法に関する研究 3 大麻草成分の疫学的影響研究
独立行政法人 医薬品医療機器 総合機構 客員教授 山 田 博 章	1 承認審査業務に基づいた医薬品評価に関する課題研究 2 治験相談業務に基づいた医薬品開発に関する課題研究 3 薬事領域におけるレギュラトリーサイエンス関連研究